

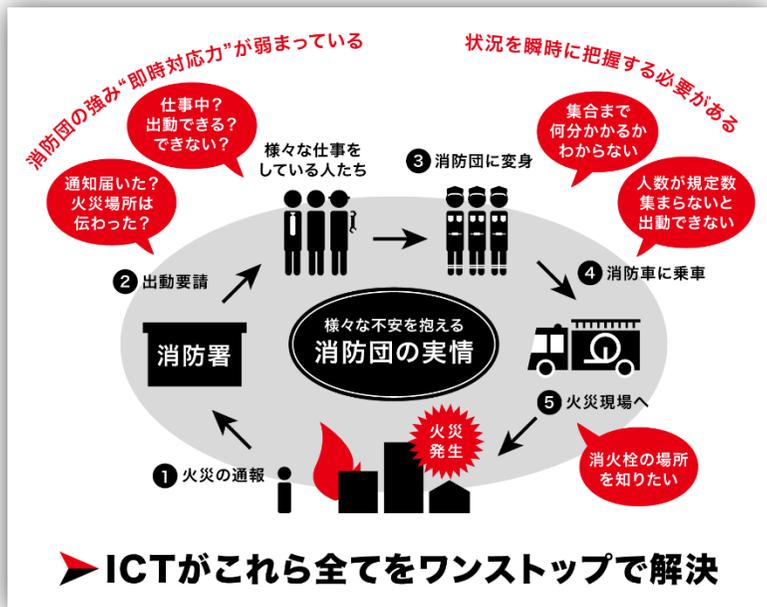
実施主体：情報整備局

実施地域：福島県須賀川市、古殿町

地域防災の中核である消防団員の活動をICTでサポートするアプリ

取組の概要

- ★消防団の即時対応力の低下→ICT活用で解決
消防団の即時対応力が強化されることで地域防災力アップ
- ★行政と連携して防災・減災の課題を解決
行政の抱える課題をICTで仕組み化することで効率アップ
- ★行政と消防団間の報・連・相ができる
最新の消火栓情報が共有でき災害時に役に立つ



取組の背景

日中はサラリーマンとして働いている消防団員の増加により災害が発生しても出動できない、仕事で災害通知に気づかない。

- ✓ 全国の消防団員の**70%以上**がサラリーマン！
- ✓ 消防団員数は消防署員数の**約5倍**で地域防災の中核的存在！

既定の人数が確保できないと消防車は出動できない。

- ✓ 出動できる**人数の把握**が重要となる！

災害現場での消火栓情報が非常に重要。

- ✓ 災害現場で紙の水利マップを見ている**時間は無い**！
- ✓ いざ消火栓を使おうとしたら**錆びていて使えない**！なんてことも

取組の成果

- ①全消防団員へ迅速に火災通知が届き火災場所の共有ができ、消防団員がすぐに応援に駆け付けることができた→**危険な状態にある高齢者**を安全に救出することができた
 - ②火災現場から一番近い消火栓の位置が1km近くある所で火災が発生→出動の必要がない他の消防団員が本アプリで現場を視覚的に確認→**自発的に**消防ホースの中継応援にかけつけ効果的な消火活動を実施することができ被害を最小限に食い止めた
- ※①は、ICTによる迅速な災害通知と現場情報の共有が無かったら人災になっていた可能性も。
※②は、現場情報の共有が無かったら消防ホースを繋ぐのに時間を要してしまい被害が拡大していた可能性も。

ほとんどの自治体で年間100万円以下で導入でき、自治体の消防費を圧迫することがない。福島県の市町村の消防費予算（13の市の平均約14.9億円、31の町の平均約3.9億円、15の村の平均1.8億円）**予算の1%以下**